

### 対決構図は「小池知事対自民」?

今度の都議選を「小池知事対自民党の対決」とおおっているメディアもありますが、本当の対決構図はズバリ自公対共産党です。石原、猪瀬、舛添の歴代都知事は、大型開発優先、くらし・福祉に冷たい「逆立ち」都政を進めてきました。このゆがみが、築地市場の豊洲移転問題で噴き出しています。

これらの歴代知事を支え、都政の「闇」をつくりだし、都議会を推進してきたのが自民、公明両党で

### ズバリ 自公対共産党

す。自民、公明は3代の知事が提案した議案にすべて賛成してきました。これに対し、都政の「闇」を徹底的に追及してきたのが、日本共産党です。豊洲問題では、「地下空間」を発見するなど都のウソをまかしを暴きました。無謀な豊洲移転計画が破たんしても、反省もなく推進しがつく自公か、きっぱり中止を求める共産党か。共産党を伸ばしてこそ、都政の「闇」に切り込むことができます。

### 安倍政治ノりの思いを託したい

都議選は、東京の未来、都民の暮らしにかかわる大事な選挙です。同時に、全国的な注目を集め、国政にも大きな影響を与えます。憲法を無視した安倍政権の暴走は、一昨年9月の戦争法強行以来、歯止めがきかなくなっています。安倍政権が強行を狙う「共謀罪」法案は、国民の「心中」を罰するところでもない悪法です。自公は、この悪法の早期成立を狙っています。

国有地の格安売却への首相夫人の関与が濃厚になった「森友」疑惑、南スーダンに派兵された自衛隊の「日報」をめぐる稲田朋美

### 日本共産党の躍進で

防衛相の虚偽答弁、東日本大震災が「東北の方でよかった」という大暴言で辞任に追い込まれた今村雅弘前復興相など、安倍内閣のモラル崩壊は深刻です。一日も早くお引き取り願うしかありません。いまの安倍暴走政治に、正義と道徳に立って正面から追及しているのが共産党です。同時に、野党と市民の共闘を大きく発展させる役割を果たしています。元公明党副委員長の二見伸明さんは、その鍵を握っているのが共産党とエールを送っています。共闘のための共産党を都議選で伸ばしていきましょう。

### 地上は安全って本当?

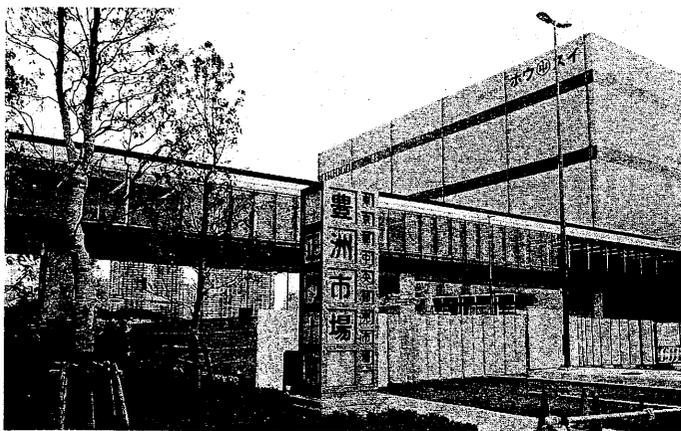
### 最大争点は 豊洲問題①

今度の都議選の最大争点は築地市場の豊洲新市場への移転問題です。都民はもとより、国民の食の安全にかかわる大問題です。自民党などは「地上は安全。だから豊洲移転を」と主張していますが、とんでもないことです。

そもそも農水省は、汚染土壌の上に生鮮食品の市場をいかに想定し得ない」との疑念を示しています。それは、地震による液状化や施設の老朽化で、汚染が遮断を破り地上

### 汚染土壌の上とんでもない

に出ている可能性があるからです。だから、その都は、2008年に豊洲新市場の予定地から基準値を大きく超える発がん性物質ベンゼンやシアン、ヒ素などの新たな汚染が判明したときに、①汚染土壌の除去・浄化の盛り土による遮断を約束しました。ところが、汚染土壌は残され、盛り土による遮断も行われていませんでした。政府・農水省の立場からしても、「想定し得ない」「とんでもない」「しつものなの」が、豊洲新市場です。豊洲新市場中止をきっぱり主張する共産党に力を貸しましょう。



都議選の最大争点で注目の豊洲市場—東京都江東区

# 語ろう共産党

東京都議選(6月23日告示、7月2日投票)がいよいよ本番です。日本共産党は今度の都議選で、17議席を絶対確保し、新たな議席を勝ち取ることを目標に掲げています。日本共産党の前進は、都政のゆがみをただす点でも、安倍政権に審判を下す点でも、大きな意味を持ちます。日本共産党の姿をおおいに語りましょう。

## 2017 都議 選挙

6月23日告示 7月2日投票

# 築地市場も汚染している？

## 最大争点は豊洲問題②

自民党などは、豊洲移転を推進するかわたわら、「築地市場も汚染されている」との攻撃を行っています。事実を反する攻撃は許せません。築地市場は80年余の歴史で、一度も有書物による食品汚染はありません。だから、世界中から「築地ブランド」として信頼されているのです。「明白な営業妨害」「築地女将〈おかみさん〉」など市場関係者が怒りの声をあげています。

## “営業妨害”とおかみさん

豊洲の「闇」を隠し、築地を改修してなかった責任を逃れるために築地を攻撃するなど本末転倒です。こんな人たちに、都政を任せられるでしょうか。  
豊洲新市場に投じた6000億円がもったいない、との声もあります。強引に新市場整備を進めてきた責任は徹底して究明しなければなりません。  
同時に日本共産党は、築地再整備こそ、費用・工事期間、営業との両立などの面でも、十分に可能だと提案しています。都民、専門家の英知を集め、市場関係者の合意を得ながら、この道に進むべきです。

# メディアも注目 党都議団の豊洲調査

## 宝の議席①

日本共産党都議団は、調査力・提案力・論戦力の3拍子そろって、都政を動かしています。  
ずば抜けた調査力という点で注目されたのが、昨年の豊洲新市場の地下空間の発見です。

都議団は、豊洲新市場を調査して、主要な施設の地下で、都が土壌汚染対策としての盛り土を行わず、地下空間をつついていたことを発見しました。

これが、都政を揺るがす大問題となるきっかけになりました。豊洲市場の安全性をどうと追及してきた共産党だ

からこそ発見できたことで

「朝日」は「都政追及共産党存在感」という大きな見出しで、共産党の調査力を特集し、「共産党都議団は議員17人と事務局職員9人の計26人で構成。調査は都議と職員とが協力して取り組む。調査には人手が必要で、政務活動費の3割を人件費に充てている」と書きま

た。  
政務活動費を、飲み食いに伴う新年会などの会費に使う自民党や公明党とは、まったく違います。

都政の闇やゆがみを正す厳しいチェック役として、大きな仕事をしてきた共産党をもっと大きくしてほしいと、

## 都政のゆがみのチェック役

## 共産党は批判や反対ばかりでは？

## 宝の議席②

「反対ばかり」どころか、4年前に17議席を躍進して取り戻した議案提案権をフルに活用して、4年間で13本の条例提案を行い、都政を動かす大きな力を発揮しています。

なかでも、認可保育園の増設では、用地費を補助する条例案を提案。否決されたものの、用地費補助は一部実現し、4年間で認可保育園の定員を5万3000増やすことができました。公約した3万人増を超過達成しています。

日本共産党都議団の論戦力は抜群です。豊洲問題究明の都議会百条委員会でも、石原慎太郎元知事の責任、浜渦武生元副知事の偽証を明らかにしました。

## 豊洲問題の百条委、どんな成果が？

## 宝の議席③

石原氏は「隠れた」を繰り返してとぼけましたが、土壌汚染の実態について石原氏が説明を受けていた記録を発見して突き付けました。

浜渦氏は、都と東京ガスの基本合意以後、土壌汚染に限らず、豊洲開発に関して「うまい相談」を繰り返しておりました」と断言し、自分で

## 提案権使い 都政動かす

シルバークロス負担軽減の条例案は、ずっと自民・公明の反対で否決されてきました。ところが、今年3月議会に生活者ネットと共同で提出した条例案は、初めて「継続審査」になり、実現まであと一歩です。都議が議決するたびに1日1万円から1万円半が支給される費用弁償という仕掛けについても、他党派とともに廃止案条例案「実費支給」を提案しました。自民、公明などが採決に反対して、2年間でわたって邪魔しましたが、今年3月議会とうとう廃止が実現しました。

は責任がないと聞き直りました。これに対して、共産党の吉田信夫都議は、「基本合意」以後も浜渦氏が関与していたことを示す文書を突き付けて追及し、証言が偽りだったと明らかにしました。

このとき、自民党は「豊洲市場の土地買収交渉は、浜渦副知事ではけしはなし、広報だった大業業」と礼賛し、公明党は「心からお礼を申し上げます」ともお手を尋問をはじめる始末でした。

百条委員会という舞台でも論戦力の高さを形影にたなびた共産党は、もっと増やして

## 偽証明らかに 浜渦の副知事

副知事としての責任を明らかにし、豊洲問題の真相を究明する

## 自公は「早期移転」を主張しているけど？

## 最大争点は豊洲問題③

自民党と公明党は、都政では、小池都政との関係で「見立しているように見えますが、無謀な豊洲移転計画については、いさよも推進の立場です。

自民党は「積極的に豊洲への移転を進める必要がある」(2001年2月)と後押しする一方で、市場関係者らの移転反対運動に対して「土壌汚染問題を訴える方々は、政争の具に利用しようとして」(07年6月)とこぼしていました。

## 無謀な推進 破綻明らか

力させたい(01年3月)と要望。豊洲移転に反対する人々を一あまりにも時代錯誤の、情けない、都民の要望を無視した主張だ(11年11月)と攻撃してきました。  
01年以来、石原元知事とともに無謀な豊洲移転を推進して、いままで破綻が明らかになったのに、無反骨で推進しつづけて自民・公明に都政を拒否資格はありません。  
「都民ファースト」は豊洲移転への態度を明らかにしていませんが、推進の公明党と選挙協力を行っていきます。都議選最大の争点にどういう態度をとるのか、問われています。

## 都はなぜ無謀計画に税金を？

石原慎太郎知事以来、3代続いた知事が無謀な豊洲移転計画を推し進めた背景には「巨大開発が福祉や暮らしをまもる」という「逆立ち都政」のゆがみがあります。豊洲移転計画もゼネコンや大手デベロッパー(開発業者)の要望に応えたものでした。

こうした巨大開発優先の都政のもとで、予算に占める民生費の割合は下がっています。土木費の割合はべんたべん上がりしました。

具体的には、石原都政の前年の10000年度決算と直近の2014年度決算を比べると

## 巨大開発優先の“逆立ち都政”

と、東京都の民生費の割合は全国47都道府県で3位から35位に転落し、反対に、土木費は40位から26位に跳ね上がりました。  
日本共産党都議団は、小池都政に対して「逆立ち都政」のゆがみを正す是々非々の立場で予算相の踏案を、東京外環道などの巨大開発にメスを入れれば福祉、暮らしを充実できるを主張しています。  
共産党の躍進でこそ、福祉と暮らしに光をあてるまっとうな都議会をうめたいと訴えています。